

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No. 7



平成28年度の事業内容をご報告いたします



グループ別研修会 白駒 妃登美 氏

ごあいさつ



理事長
高野 英一

「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなってきている。このままでは日本の将来は大変なことになる。

それには、学校の先生方皆様に高い志のもと高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を子供達を正しく育成させていただく他に道はない」との思いで「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援ご協力に依り、6年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました先生方が、多数その講演内容に感動され、その気付きからこれからの教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も、県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様の、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

平成28年度事業概要

目的

日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通して、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。

対象者

市町村立小・中学校等、県立高等学校等、県立特別支援学校
・新任校長
・新任教頭
・新任教務主任

研修会

- 合同研修会
6月27日(月)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
- グループ別研修会
8月2日(火)、9日(火)、23日(火)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
- 茨城県市町村教育委員会教育委員研修会への講師派遣
10月18日(火)

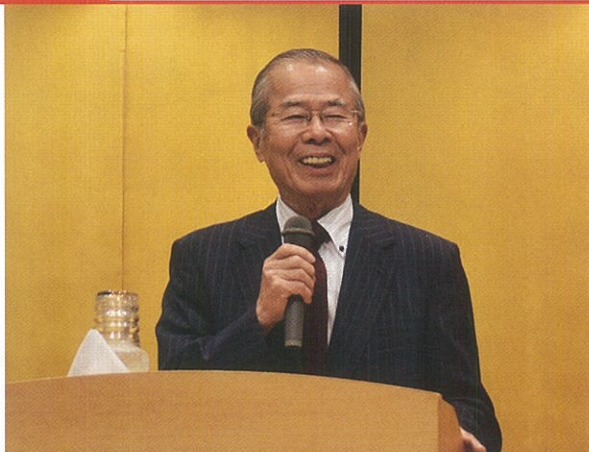
For the future of Ibaraki children

合同研修

6月27日(月)●新任校長・新任教頭・新任教務主任[参加者数 629名]

演題

以って、範を示す



●講師

上甲 晃氏 【大阪市生まれ】

松下政経塾で初代塾頭を務めた経歴をもつ。「志の高い日本」は「志の高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。また、活動の一環として、「青年塾」を創設し、青年の啓発にあたっている。

受講者の感想より

「活力のある学校づくりのために、「人のよさを見出し、人を生かして、人を育てる」という人材育成が、校長の重要な役割であると理解しているつもりである。しかし、自分自身が「本気でかかわろうとする覚悟と勇気」がなければ、教職員も組織全体も変わらない。そのことに改めて立ち返る機会をいただいた。(小美玉市内小学校 校長)

「人生は、自分の思い以上の結果は出せない。思いを大きく」という言葉には、まさにこれからの学校経営に当てはまると感じ、大きなビジョンを描いて取り組まねばならないと心を新たにさせられました。先生の話された一言一言を常に心に置き、志をもって職務にあたっていくという気持ちになりました。(特別支援学校 校長)

今の自分に必要なものは「心の背骨」だということを実感しました。将来の日本を、世界をつくる子ども達の成長を手助けするために、自分が譲れないものは何なのか、もう一度見つめ直し、自分が変わることで、今の仕事に向き合っていきたいと思いました。(水戸市内中学校 教頭)

上甲先生は、自分の生き様をもって熱く語りかけてくださった。こんなにも感化された講演会は今まであっただろうか。「己の損得を超えて」の精神で、講演会に臨んでくださったのだろう。決して無駄にはしない。一年後、どれだけ自分が人のために働いているか、楽しみである。(那珂市内小学校 教務主任)

グループ別研修

8月2日(火)●新任校長[参加者数 237名]

演題

歴史が教えてくれる日本人の生き方



●講師

白駒 妃登美氏 【埼玉県生まれ】

大病を患った経験から、命を紡ぐことの大切さを実感し、結婚コンサルタントとして活動する傍ら、歴史講座を始める。講座では、「こんな歴史の先生に出会いたかった」と、涙する参加者が続出。現在は、年間150回を超える講演をこなしている。

受講者の感想より

命をかけて守りたいもの・守りたい人があるか、という問いかけに、ある種の「覚悟」を持つ人の迫力を感じた。「生かされている自覚」や「言葉での感謝だけでなく、行動によって恩に報いる」と言い切れる境地が素晴らしいとおもった。(県立高校 校長)

グローバルを語るなら、まず「ちゃんとした日本人」にならなければならない。…そのことそのものにも耳の痛い思いであるが、「教育を語るなら、まず、自分がちゃんとした教育者でなければならない。」といわれたような気がした。自身を含め猛省を迫られた思いである。(県立高校 校長)

「今ある全てを受け入れ、今できる最高を目指し、常に自分を生かし高めていく」この志こそが、自分を喜びの人生へと誘うことであると感じました。本気で魂の限り今を大切に生きていく人の言葉がいかに人の心を打つものかと痛切に感じ、多くの職員と生徒に係わる校長として、改めて感動した次第です。(坂東市内中学校 校長)

「命は尽きる。しかし、志は命が尽きても、次の人が引き継ぎ、次代につなぐことができる。志のリレーが必要。」とお考えには、大変感銘を受けました。そして、志をもつためには、「感激・感動・感謝」といった感性、真・善・美がわかる感性が必要との言葉には、まさに目から鱗が落ちる思いでした。(大子町内小学校 校長)

グループ別研修

8月9日(火)●新任教頭[参加者数 233名]

演題

徳は孤ならず



●講師

池田 繁美氏【福岡市生まれ】

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

受講者の感想より

もっとも、心に残ったことは、「教師が魅力ある人であれば、子どもが先生を好きになる!先生が好きになれば、学力だって伸びる」自らの人格を高めていくことが大切であることを再認識することができました。(小美玉市内小学校 教頭)

自分の行動で他者を感化すること、それに必要な立ち振る舞いを常に意識すること、教師としての基本がそこにあると思います。(特別支援学校 教頭)

「素心学の心得」の二十の徳目・日常の心がけ・謙虚さがなくなる兆候を読ませていただき、自分の目の届くところに記しておくことにしました。(利根町内中学校 教頭)

我々教職に就く者は、その職責に対する使命感を自覚し、研修に励み、師表徳化に努めなければと改めて思った。大変ためになる研修会だった。(県立高校 教頭)

グループ別研修

8月23日(火)●新任教務主任[参加者数 288名]

演題

魂を揺さぶる
本気教育



●講師

木下 晴弘氏【大阪府生まれ】

著書『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)、『涙の数だけ大きくなれる』(フォレスト出版)他多数。「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者だけでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。

受講者の感想より

何より「世の中の役に立つ」という高い価値観を育む手助けを私たち教員が行うことが重要であるということを先生から教わりました。(県立高校 教務主任)

子ども達は大人の想像以上に敏感で、行動を伴わない口先だけの話は受け入れません。心に届く言葉になるために、私自身の生き方が大切だと思いました。(県立高校 教務主任)

感動のある授業、感動のある職員室を目指し、これから、教務主任として、人に与えられるように、また、役に立てるように、感謝を忘れず、様々な課題と向き合っていこうと思います。(古河市内小学校 教務主任)

今までの自分を振り返ると結果にこだわる生徒との接し方が多くなっていて大いに反省をしました。子ども一人一人の存在意義を重視した接し方で愛情をもって教育現場に臨みたいと思いました。(水戸市内中学校 教務主任)

市町村教育委員会教育委員研修会への講師派遣

10月18日(火)●市町村教育委員[参加者数 203名]

演題

なぜ、我々は、教育に命を懸けるのか



●講師

田坂 広志氏【愛媛県生まれ】

シンクタンク・ソフィアバンク代表。2000名の経営者やリーダーが集う場「田坂塾」を開塾。研究者、教育者、経営活動だけでなく、作家、思想家、詩人として、海外での出版も含め様々な分野で80冊以上の著書を上梓された。国内外の経営者や政府、国際的リーダーから政策と戦略の提言を求められ、世界を舞台に活躍している。

いばらき教員応援団へのメッセージ

4月に新任教頭として赴任し、無我夢中で取り組んできた毎日、そのような日々の中での今日の講演。心の栄養をいただきました。これを機会に、本を読む時間を増やし、魅力ある人間となるように努めていきたいと実感しました。このような研修会の機会をいただき、本当にありがとうございました。

(日立市内小学校 教頭)

今回の講演を通し、体に電気が走りました。新採のときに純粹に考えていたことを思い出させられました。貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。

(つくば市内小学校 教務主任)

2学期からは、職員室に感動をつくり出していけるように頑張ります。このような講演会を企画してくださいました方々、本当にありがとうございました。

(常総市内中学校 教務主任)

事業計画

○ 合同研修会

平成29年6月26日(月)
小美玉市四季文化館みののーれ
講師:山下 泰裕 氏

○ グループ別研修会

平成29年7月27日(木) 新任校長
平成29年8月 4日(金) 新任教頭・副校長
平成29年8月23日(水) 新任教務主任
ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間

○ 新規採用教員対象研修会

平成29年8月10日(木)
常陸大宮市文化センター ロゼホール
講師:田坂 広志 氏

いばらき教員応援団〈役員一覧〉

【役員】

理事長
高野 英一 タカノフーズ株式会社
専務理事
打越 芳男 株式会社打越製材工場
常任理事
諸岡 信裕 社団法人茨城県医師会
常任理事
沼尻 博 沼尻産業株式会社
常任理事
大久保 博之 茨城県商工会議所連合会
理事兼事務局長
石原 道明 元城里町教育委員会教育長

副理事長
幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社
常任理事
加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社
常任理事
関 正夫 関彰商事株式会社
常任理事
幡谷 祐一 茨城県信用組合
監事
和田 芳武 ネットトヨタ茨城株式会社

【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション
鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所
鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店
幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社
和田 幾久郎 株式会社祐月本店
加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社
坂場 英利 株式会社白英社
関 正樹 関彰商事株式会社
藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシズ

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 **いばらき教員応援団事務担当**

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260